

# 日刊 勤労千葉

86. 7. 9

No. 2290

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二・〇七

## 東北第一弾 仙台上映会「大きな反響、250名参加」



東北地方初公開のこの日、250名の仲間がつけかけ大きな反響をよび起した。(629・仙台)

六月二十九日、東北での上映の第一弾として、仙台市・白鳥ビルホールで上映会が開催され、全金本山労働組合、仙台中電を始め、闘う労働者住民、市民、学生二五〇名の参加のもと、大成功をかちとった。

### 全金本山労働組を先頭に 二五〇名が参加

この日は、東で仙台、西で広島と東西で上映会が開催され、いずれも大成功をおさめた。

仙台上映会は、十三時からと、十六時からの二回連続上映、「在」出版会の釣舟さんの司会のもとに進められた。

第一回上映後、仙台上映委員会を代表して、全金本山労働組合の八重樫委員長が上映会に至る経過を報告、つづいて勤労千葉を代表して、布施書記長がいさつにたち、現下の国鉄分割・民営化攻撃について明らかにし、闘う決意をのべるとともに、共に起とうと全参加者に訴えた。会場で撮影中の宮島監督も、「第二報」の主演に皆さんも加わってほしいと熱っぽく訴えられた。

このころには会場は満ばい、直ちに第二回上映が開始され、十八時、大成功のうちに終了した。

### 宮城県内一〇〇カ所の 職場で訴える

仙台上映会に至る過程で、勤労千葉は全金本山や中電の仲間の協力もえて、県内の全通・自治労・国鉄関係のほぼ全職場を始め百ヶ所の職場に入り訴えてきた。当日は、訴えに応えてくれた労働者はもち論、四〇名近くの人がポスターを見て来てくれるなど、仙台の地に大きな反響を呼びおこすことに成功したといえる。いよいよ国鉄法案！国会闘争をめぐる決戦である。東北の地でも、さらに第二弾、第三弾の上映会を開催し、全国から分割・民営化阻止の大包囲陣をつくり出そう。

## 必ず反撃を強く確信 訪ねて(協販部・生)

地図を片手に全国へ

勤労千葉の物品販売活動に全面協力してくれた県労連傘下の各組合の好意に励まれ、やれる確信をつかんだ私たち協販部は、六月始めより、東京、関西、そして全国へと、今まで行ったこともない地域へ地図を片手にオルグに入っております。

私は主に国鉄の職場を訪問しておりますが、すでに国労新橋、上野、横浜、八王子、施設の各支部をたずね、物品販売の要請を行ったところ、快く受け入れてくれました。

### 闘う者同士の共感 —東京・七〇カ所を訪問—

オルグで一番苦労することは、組合事務所が仲々わからないこと、現

場の役員が専従でないので一回で会うことが出来ないことです。それでも今日まで七〇ヶ所の分会を廻る事ができました。役員への対応はというと、自分の職場だけでなく、協力してくれる他の分会を紹介してくれる人から、反応の弱いところまでさまざまですが、千葉においては勤労千葉が弾圧を一身にあびていますが、東京においては国労が攻撃を受けているという関係があつて総じて好意的に迎じてくれています。

### 当局と裏切り分子の二重 の攻撃に怒りが充満

当局の横暴なふるまいを許せないと訴えていた保線区の青年部長、陰ながら応援しているよといってくれた駅の分会長とは時間のたつのも忘

れるほど長時間話し合いました。

また、ニセ国労の出現に怒りをおくさない車掌区の分会長、当局と勤労「本部」のあからさまなゆ着を具体的に指摘してくれた運転職場の三役：：数えあげたらキリがないほど今、国労組合員は当局の強権的労務管理と裏切り組合(新)マル生分子どもの二重の攻撃のはざままで確かに苦闘を余儀なくされていますが、人間性さえも奪いとられようとしているこの「分割・民営化」十万人首切り攻撃は、そのあまりにも不正義ゆえに、ギリギリのところから必ず反撃されるし、絶対にしなければならぬと意を強くしたところでありませう。

その日の為に、私はもつともつと多くの組合へ勤労千葉の運動のセールスマンとして訪ねて行きたいと思

(寄稿・協販部・S)